

1（2）多様な対象者のための学習講座

① 民具説明会（4）  
「稲刈りに関すること」

展示期間：令和元年10月10日～11月6日の内の19日間  
体験会：「民具を使った収穫作業の体験」  
令和元年10月17日 小学校3年生  
於：砺波民具展示室

○「稲刈りに関すること展」展示写真



稲刈りに関連した民具を集め、手作業での稲刈りを行った時代の人々の暮らしを探り、生きる知恵や工夫を学ぶ。

手作業時代は、稲刈りは一家総出でおこなう一大仕事であった。天候にも左右され、幾度もの地干しを繰り返し、隣近所の助けも借りて収穫を完了した時の喜びは、村全体の喜びだった。「結」の繋がりも交えながら、稲刈り作業について解説した。

○「民具を使った収穫作業の体験」 令和元年10月17日 小学校3年生



千歯扱きと足踏み脱穀機を使用した収穫作業の体験

こき箸から千歯扱きを使用した脱穀に変わったことや、足踏み脱穀機を使用したことで、収穫量が格段に増え、作業が楽になったことから、昔の人の知恵を知り、さらに家庭で共に昔の作業を聞いたり調べたりした。また米粒一つも拾ったことから暮らしについて感想をまとめていた。

○評価と課題（主催者側の感想）

- ・季節の小企画展示の開催も軌道に乗りつつある。入館者は190人。
- ・小学3年生の郷土学習の時期と重なり、多くの入館者があった。事前に家族に実際していた農作業や思い出を聞いてきてもらっており、実際に民具を触って体験することで、自分たち・砺波地方の先人の暮らしとして記憶に残ったようだ。